

憲法が輝く大阪府政に

8500人の熱い思いが梅田章二さんに



いまこそ
つくろう
府民が主人公の
新しい
大阪

2008年の幕開けは1月10日告示、1月27日投票の大阪府知事選挙です。大阪自治労連は「明るい民主大阪府政をつくる会」の梅田章二さんを先頭にして、「憲法が輝く大阪府政に」「いまこそつくろう府民が主人公の新しい大阪」をスローガンに全力をあげてとりくみをすすめています。12月12日に大阪府立体育会館でひらかれた「府民大集会」には8500人の府民が駆けつけ、「府民が主人公、暮らし、福祉、平和が優先の府政をとりもどそう」との思いがひとつになりました。

大阪自治労連は「住民によるこぼれる仕事をしたい!」の大横断幕を掲げ、府下各地域から多くの組合員が参加し、大阪府知事選挙のとりくみに全力をあげる決意に燃えました。



会場内には女性たちの思いがタペストリーにいっぱい

日時だよ! 全員集合

2008年新春の
主な行事・とりくみ

- 1月1日(火) 「明るい会」元日宣伝(午後2時、地下鉄・南森町駅)
- 1月7日(月) 大阪府知事選挙勝利大阪自治労連総決起集会(いきいきエイジングセンター)
- 1月7日(月) 大阪自治労連2008年新春旗びらき(大阪グリーン会館)
- 1月10日(木) 大阪府知事選挙告示
- 1月18日(金) 枚方非常勤裁判大阪地裁結審
- 1月19日(土)~20日(日) 自治労連第20回組織集会(千葉市)
- 1月27日(日) 大阪府知事選挙投票日
- 1月31日(木)~2月1日(金) 自治労連第36回中央委員会(京都市)
- 2月2日(土) 大阪労連臨時大会(大阪グリーン会館)
- 2月8日(金) 大阪自治労連第57回中央委員会(大阪グリーン会館)
- 2月9日(土)~10日(日) 自治体関連労働者全国交流集会(奈良市)
- 2月15日(金) 前進座『赤ひげ』公演(国立文楽劇場)
- 2月15日(金)~16日(土) 自治労連共済学校(群馬・水上温泉)
- 2月16日(土)~17日(日) 自治体保育労働者全国集会(茨城・つくば市)
- 2月16日(土)~17日(日) 民法協権利討論集会(滋賀・大津市)
- 2月23日(土)~24日(日) ステップセミナー2008(神奈川・三浦市)

BOOK オン

発行 10000円 学習の友社 (本体952円)



「あなたとすすめる労働組合活動」

いま公務の職場では、時間内活動や掲示板設置の規制など、自治体当局の対応は自公政権がこの間すすめてきた「構造改革」路線に沿った厳しい状況が続いています。団塊世代の役員の退職がこの数年続く中で、労働組合活動の運営、活動の活性化に向けたとりくみが不可欠です。こうした中でのこの「あなたとすすめる労働組合活動」は大いに活用できる内容です。本書は月刊「学習の友」に最近まで連載していた連続講座をもとに1冊にまとめたものです。執筆も、全労連はじめ自治体、公務関係の役員経験者が編集メンバーに入っているだけに、実際の公務職場での活動にもとづいた記述も多く参考になります。

「豊かで安全な学校給食をめざす大阪連絡会」が主催した「地産地消・食育と学校給食を語るつどい」



大阪の食料自給率は わずか 2%

12月8日、大阪グリーン会館で「地産地消・食育と学校給食を語るつどい」が開かれ、自治体で働く職員や子育て中の父母、学校給食関係者など40人が参加しました。つどいでは、関西大学教授の榎原正澄さん(豊かで安全な学校給食をめざす大阪連絡会)会長が「地産地消と食育を学校給食からどうすすめるか」のテーマで講演し、「この1年、食の安全が脅かされる事件が相次いでおこった。2005年6月に『食育基本法』ができ、2006年3月には『食育推進基本計画』がつくられたが、食育の定義があいまい。大阪府も『食育推進計画』を策定し数値目標がつくられた。大阪の食料自給率はわずか2%。府民の平均寿命は都道府県の中でも男性43位、女性46位と低いレベル。野菜摂取量も少ない。生活習慣病は増加している。食育のとりくみが上からの運動の主体に府民が参加で

きていないのは大きな問題」と指摘しました。講演に続いてのシンポジウムでは、「富田林の学校給食では、地元食材を取り入れている。地域で『給食をよくする会』が市に要望を出しながら、すすめている。中学校給食が今年から1校で試行した。学校給食は1日3食のうち1食だがたいへん重要な1食だ」(新婦人富田林支部・高田記代美さん)、「府の一括購入と市の単独購入で統一献立で学校給食がされている。栄養士が全校に配置されていない。コメを作っている農家の人に学校にきてもらい児童といっしょに給食を食べると



講演する榎原正澄さん

りくみもしている」(岸和田市職員の給食調理員の山本みゆきさん)、「自分の田畑の一部を『学習田』として子どもたちの実習に提供している」(高槻市・吉田可成さん)などの報告・発言がありました。